

2000 年京大後期文 4

(1)

条件(イ)より、2点 $(x, f(x))$ と $(-x, f(-x))$ の中点が、 $(0, 1)$ であるから

$$\frac{f(x)+f(-x)}{2}=1 \quad f(x)+f(-x)=2ax^2+2c=2 \quad ax^2+c-1=0$$

これが任意の実数 x について成立するには $a=0, c-1=0 \quad \therefore a=0, c=1$

$$f(x)=x^3+bx+1 \text{ より } f'(x)=3x^2+b$$

条件(ロ)より、 $f'(x)=0$ が相異なる 2 つの実数解を持つから $\therefore b < 0$

$f(x)$ の増減は右の通りで、 $x = -\sqrt{-\frac{b}{3}}$ のとき極大、 $x = \sqrt{-\frac{b}{3}}$ のとき極小。

$$\begin{aligned} f\left(-\sqrt{-\frac{b}{3}}\right) - f\left(\sqrt{-\frac{b}{3}}\right) &= -2\left(\sqrt{-\frac{b}{3}}\right)^3 - 2b\sqrt{-\frac{b}{3}} \\ &= \left(-\frac{2}{3\sqrt{3}} + \frac{2}{\sqrt{3}}\right)(-b)^{\frac{3}{2}} = \frac{4}{3\sqrt{3}}(-b)^{\frac{3}{2}} = 4 \end{aligned}$$

x	...	$-\sqrt{-\frac{b}{3}}$...	$\sqrt{-\frac{b}{3}}$...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗		↘		↗

$$(-b)^{\frac{3}{2}} = 3\sqrt{3} \quad (-b)^3 = 27 \quad -b = 3 \quad \therefore b = -3$$

$f(x) = x^3 - 3x + 1$ 、 $f'(x) = 3x^2 - 3 = 3(x+1)(x-1)$ であるから、極大値は $f(-1) = 3 > 0$ 、極小値は $f(1) = -1 < 0$ 。したがって、 $y = f(x)$ のグラフは、 x 軸と相異なる 3 点で交わる。(証明終)

(2)

$y = f(x)$ のグラフは右図の通り。

解と係数の関係より、 $\alpha + \beta + \gamma = 0$ であるから $-\beta - \gamma = \alpha \quad \therefore \frac{-\beta - \gamma}{2} = \frac{\alpha}{2}$

グラフより、 $-2 < \alpha < -1$ であるから $-1 < \frac{\alpha}{2} < -\frac{1}{2}$

$f(x)$ は $-1 < x < -\frac{1}{2}$ において単調減少であり、 $f\left(-\frac{1}{2}\right) = -\frac{1}{8} + \frac{3}{2} + 1 = \frac{19}{8} > 2$

したがって $\therefore f\left(\frac{-\beta - \gamma}{2}\right) = f\left(\frac{\alpha}{2}\right) > f\left(-\frac{1}{2}\right) > 2$ (証明終)

